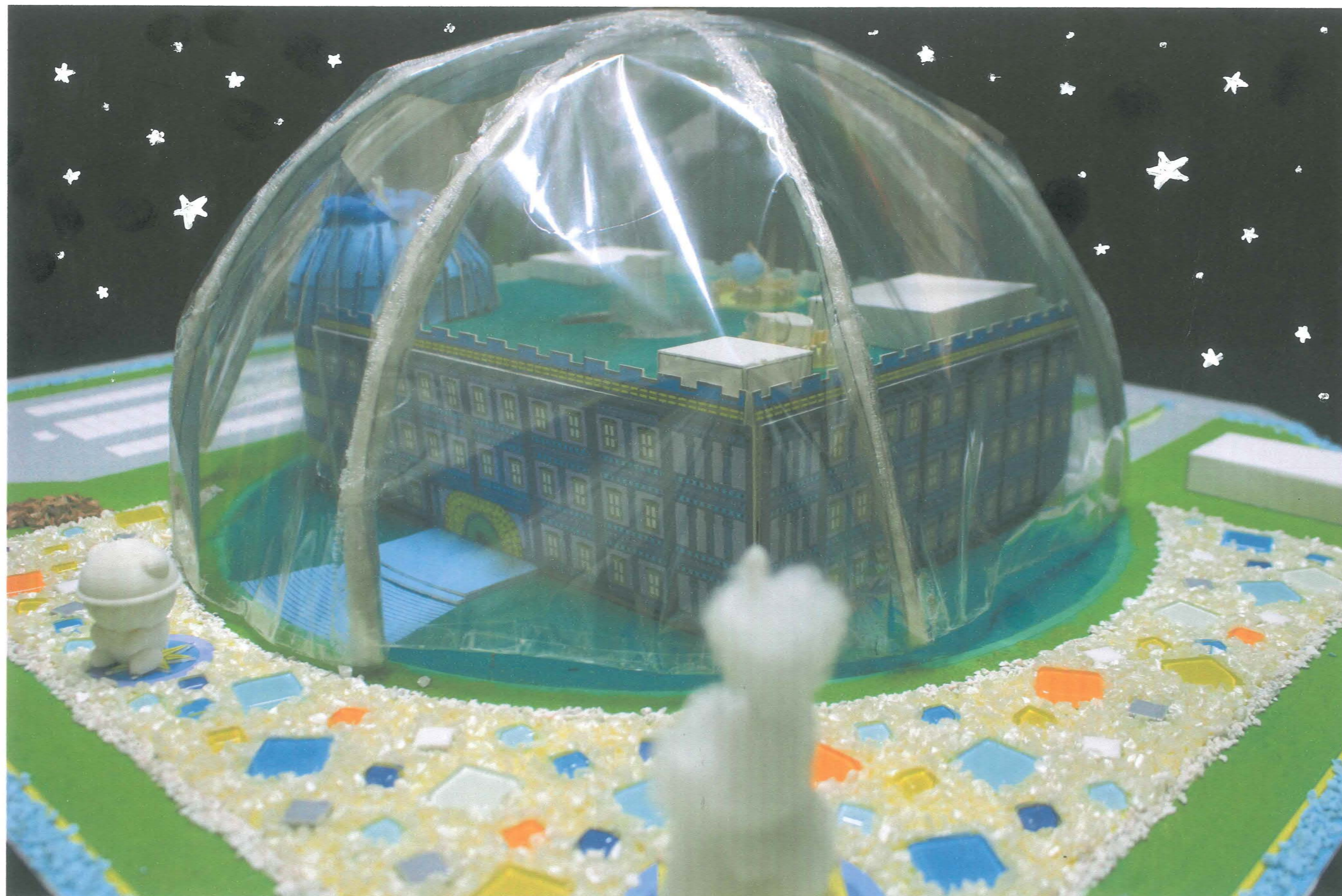
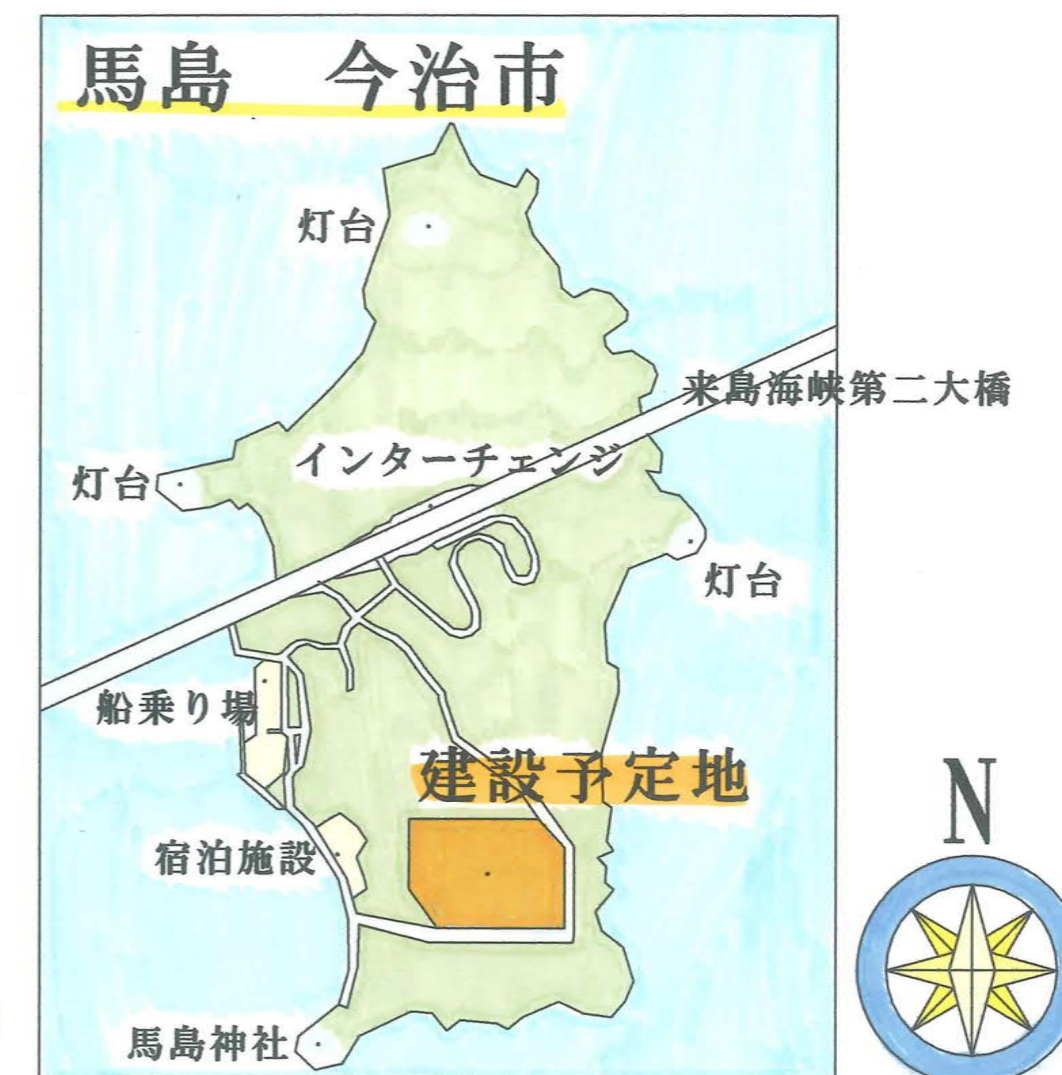


馬島天文博物館



周辺見取り図



インターチェンジを一般車で通ることができるように、道路を新につなげた。
また、観光客を乗せた船がとまれるように、港を大きくした。

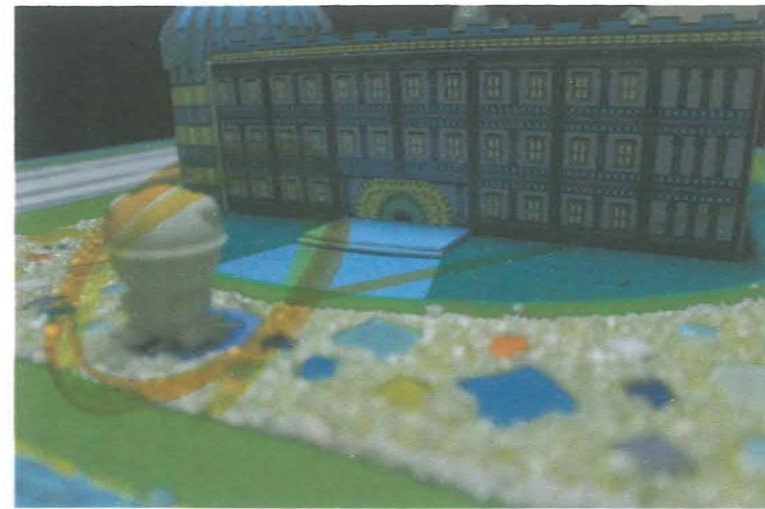
Concept

海に浮かぶ島で望遠鏡を使い、天体を思う存分に観察したいという願望から天文博物館を設計した。
そこで、ひっそりと存在している馬島を見つけた。
私が求めていた理想的な馬島に設計することで、この島の魅力に気付いてほしい。

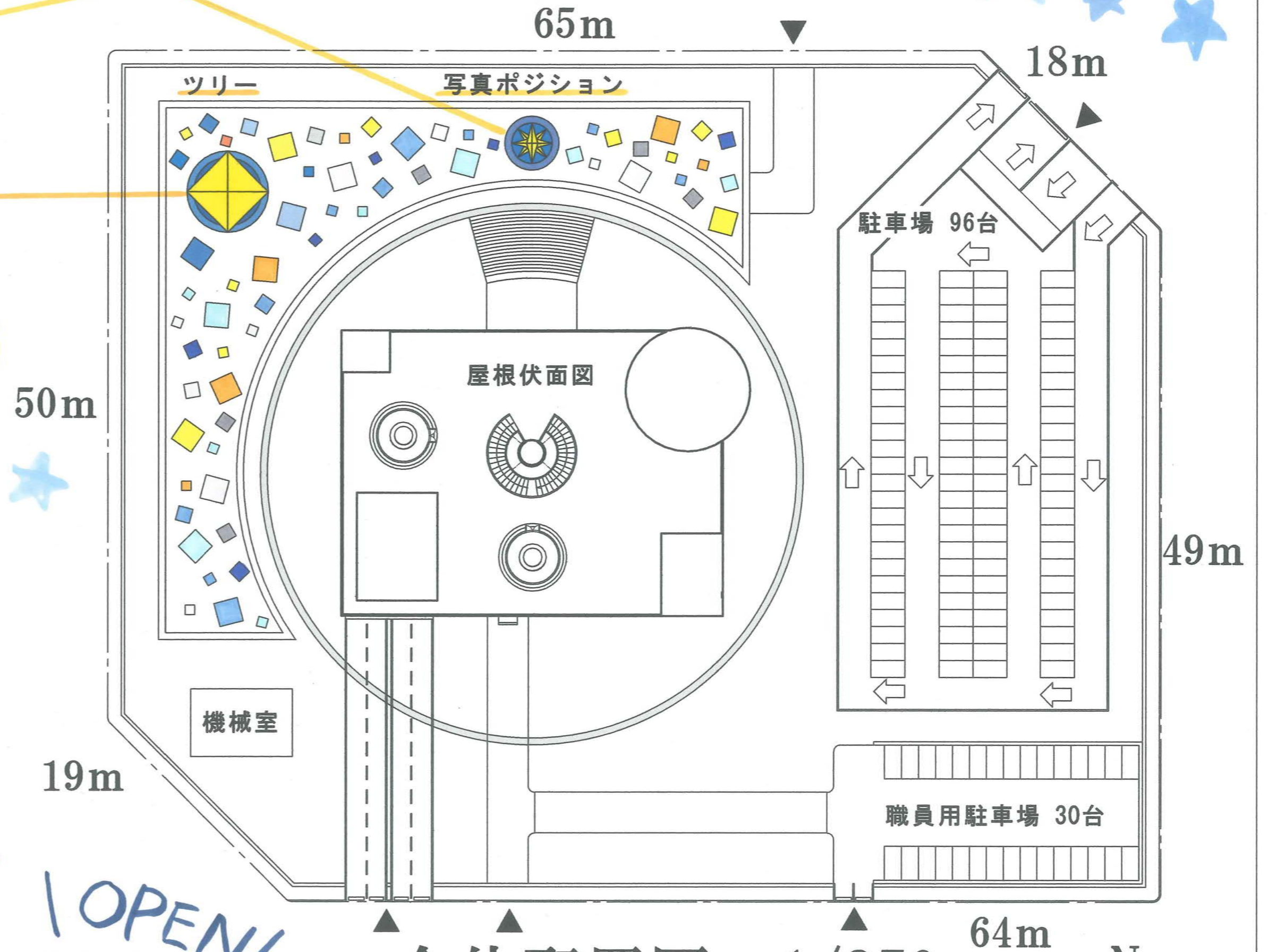
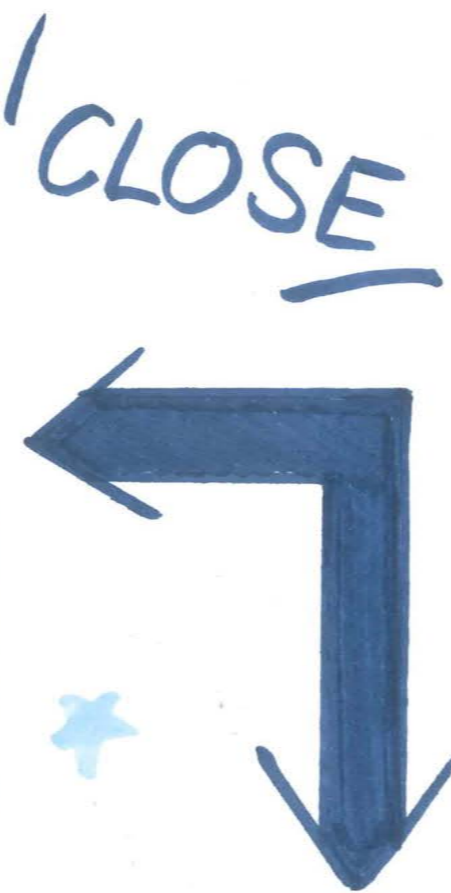
馬島

この島の面積は0.5km²であり大きくない島であるが、本島には来島海峡第二大橋と第三大橋の間に馬島インターチェンジが設置されており、当ICは島民専用で、島民や緊急車両などの許可車を除いた一般の自動車での利用ができない。ただし自転車や原付バイクは付属のエレベーターで降りることが可能であり、バスストップも設置されている。明治時代から建てられている神社がある。宿泊施設や港も設置されている。

ここに立って写真映え！



かなり大きい不思議なツリー
このツリーにお願いすると願いが叶うかも？



全体配置図 1/350

Notice

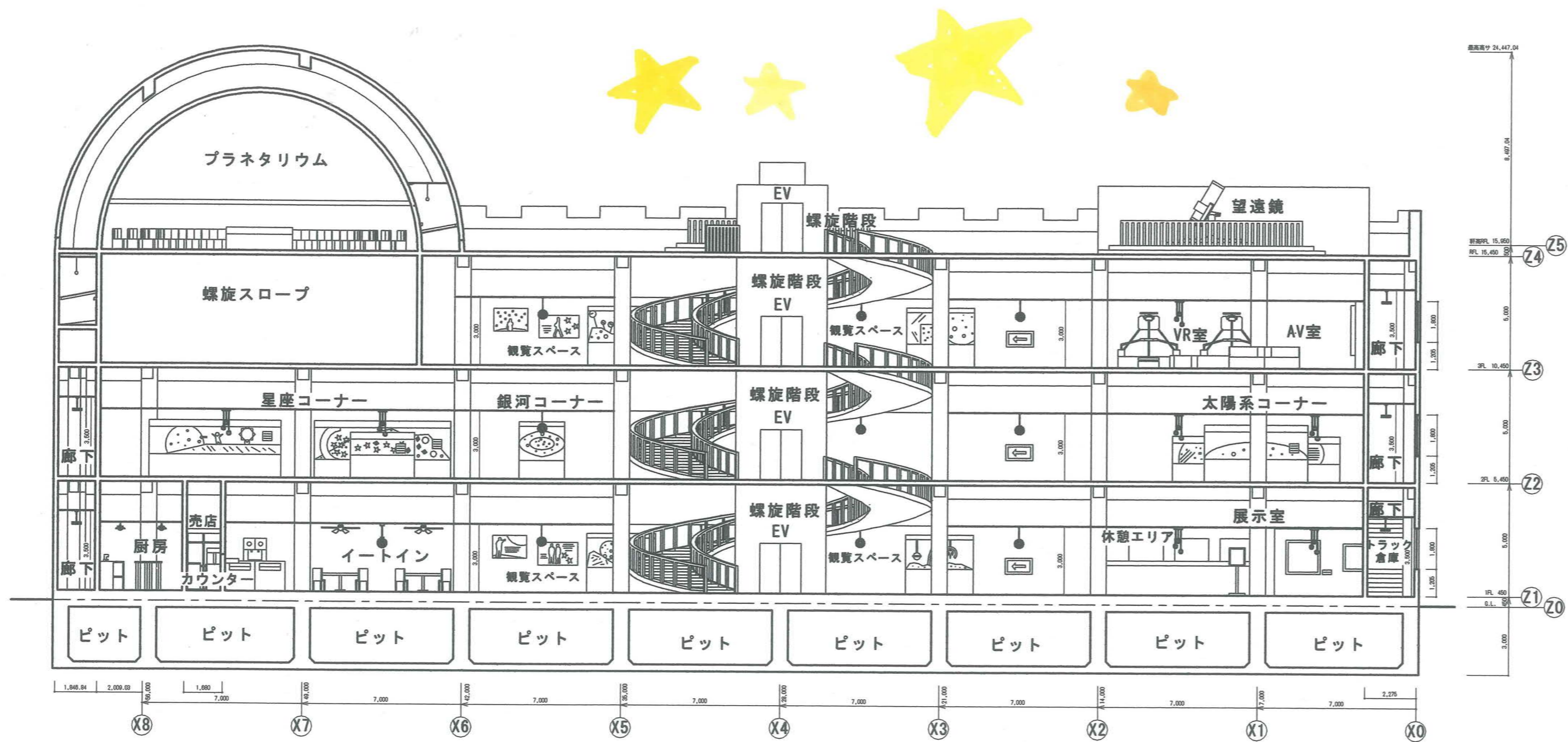
- ★開館30分前にドームが開くよ。
- ★1か月に何回かドーム内の庭で天体観測イベント！
- ★写真・動画撮影できるよ！
- ★天気がいい日は、屋上で望遠鏡使いたい放題！

このタイルは星をイメージ！

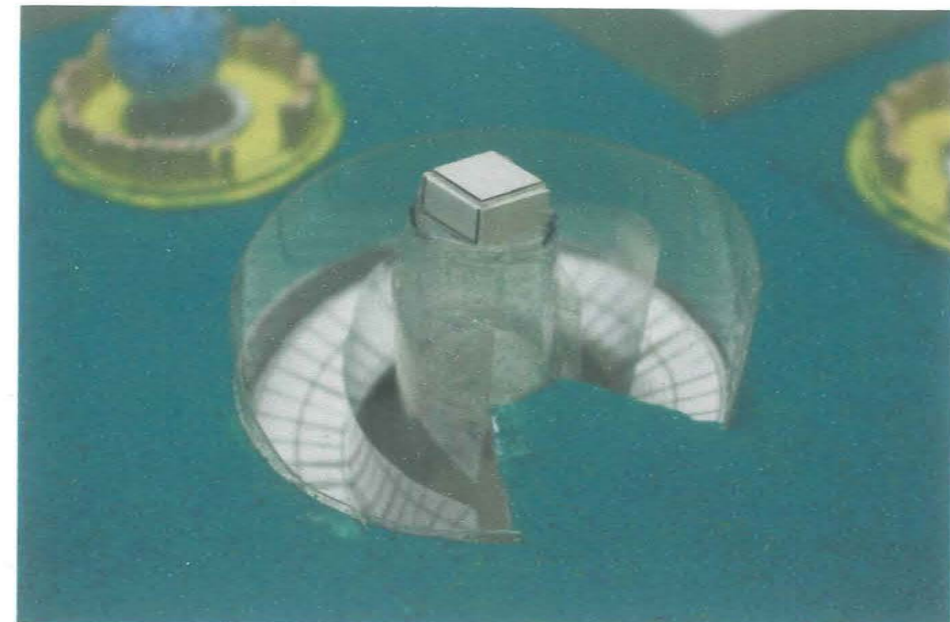
面積表

1階床面積	598㎡
2階床面積	598㎡
3階床面積	598㎡
屋上床面積	598㎡
延べ床面積	2392㎡
建築面積	598㎡
敷地面積	2136㎡
建ぺい率	30%
容積率	112%



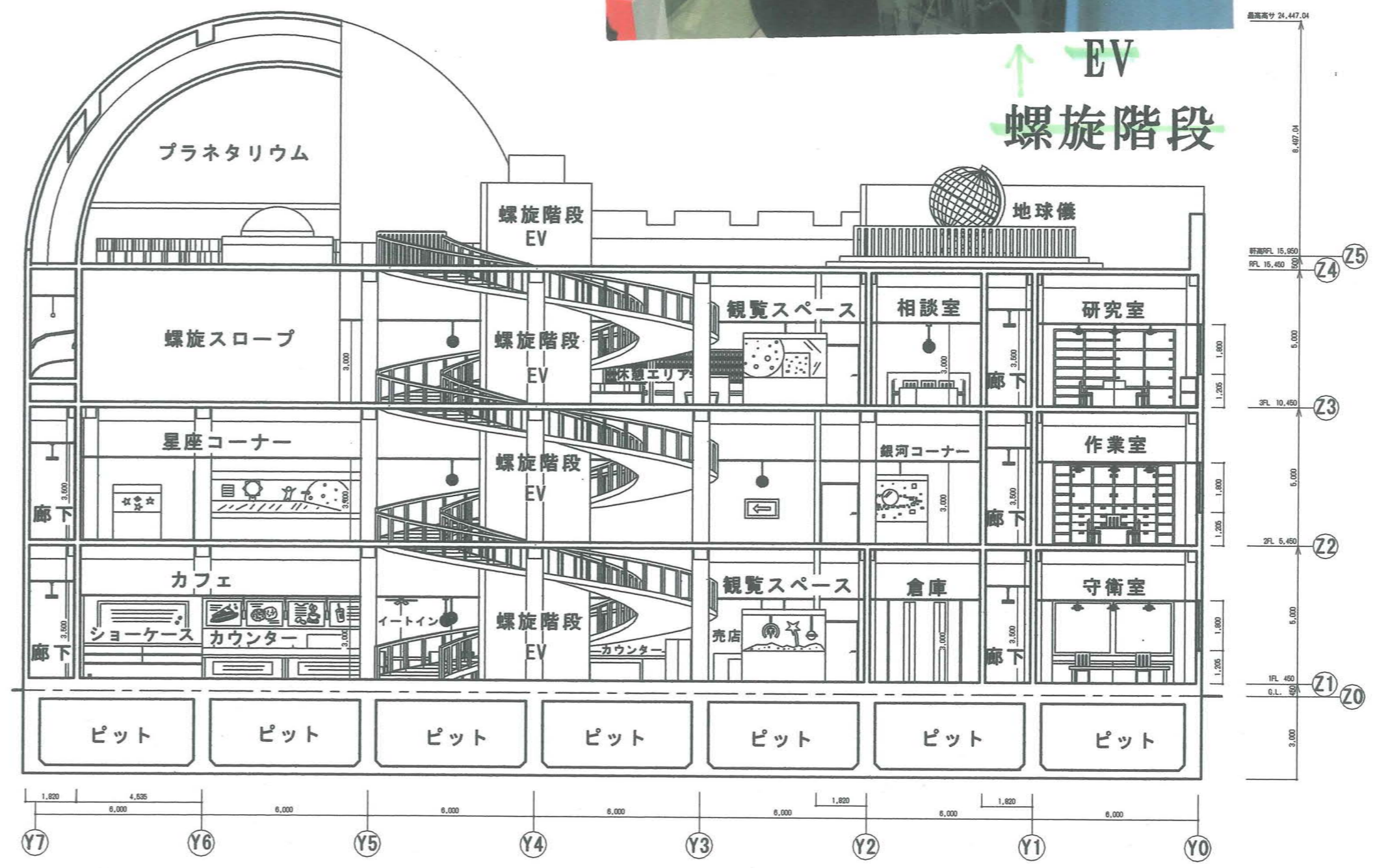


A-A断面図 1/300

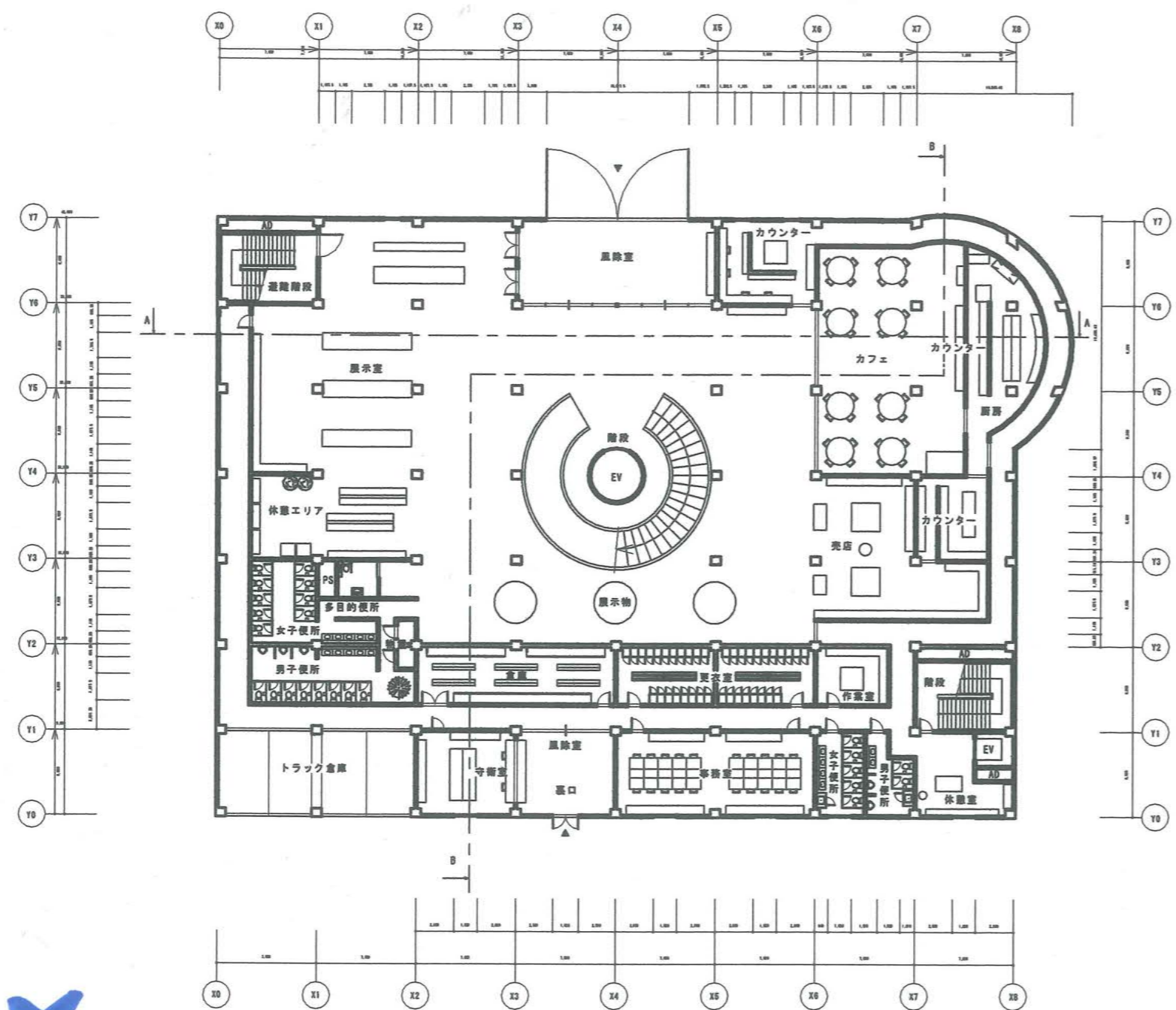


Point

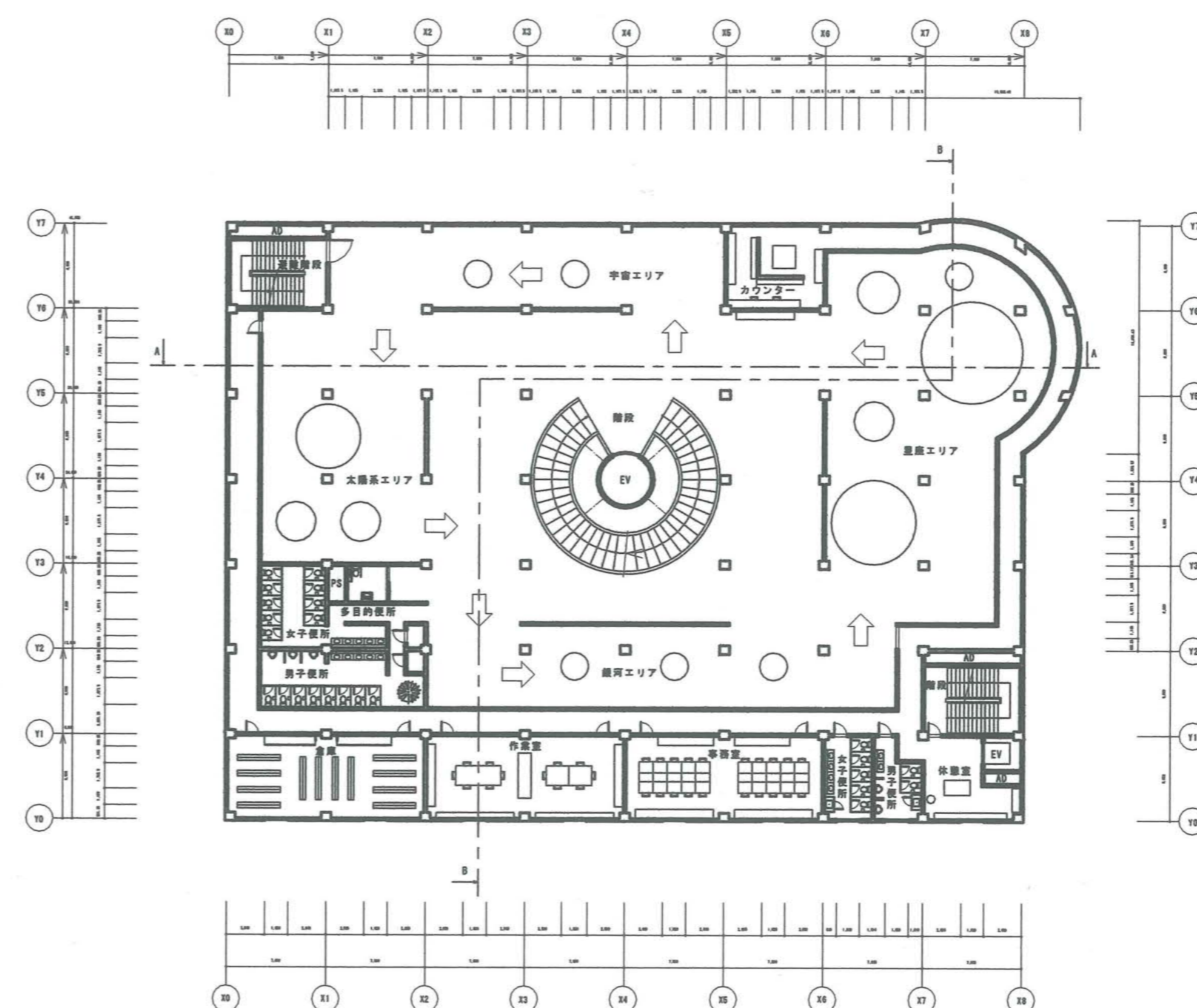
宇宙をイメージしている博物館に合うように
 近未来感を意識したガラス張り螺旋階段を
 真ん中に持ってくることで、
 建物全体にインパクトを与えた。
 また、螺旋階段の内側にガラス張りエレベーターを
 設けることで、階数が上がっていく度に
 誰でもワクワクが止まらないだろう。



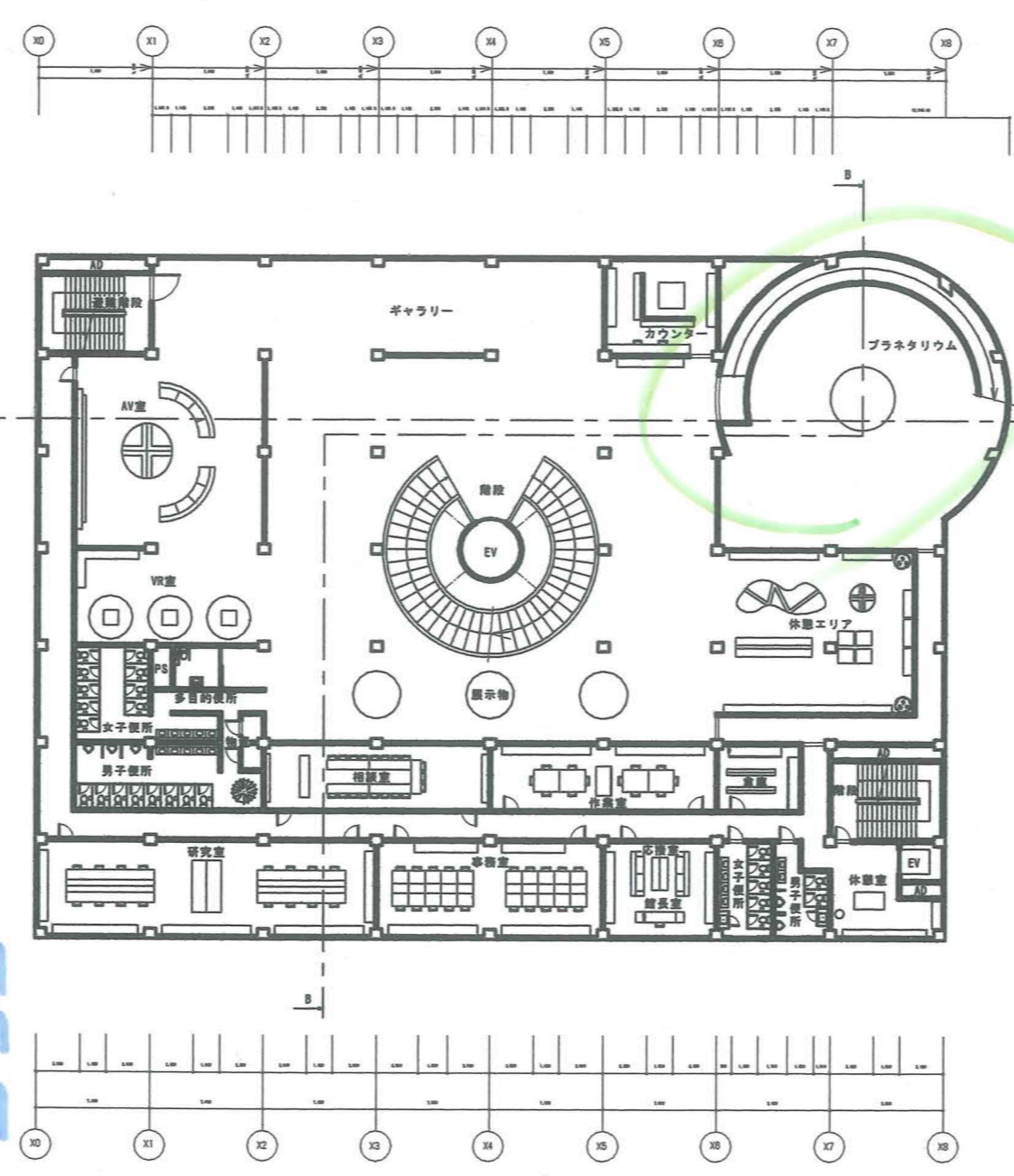
B-B断面図 1/300



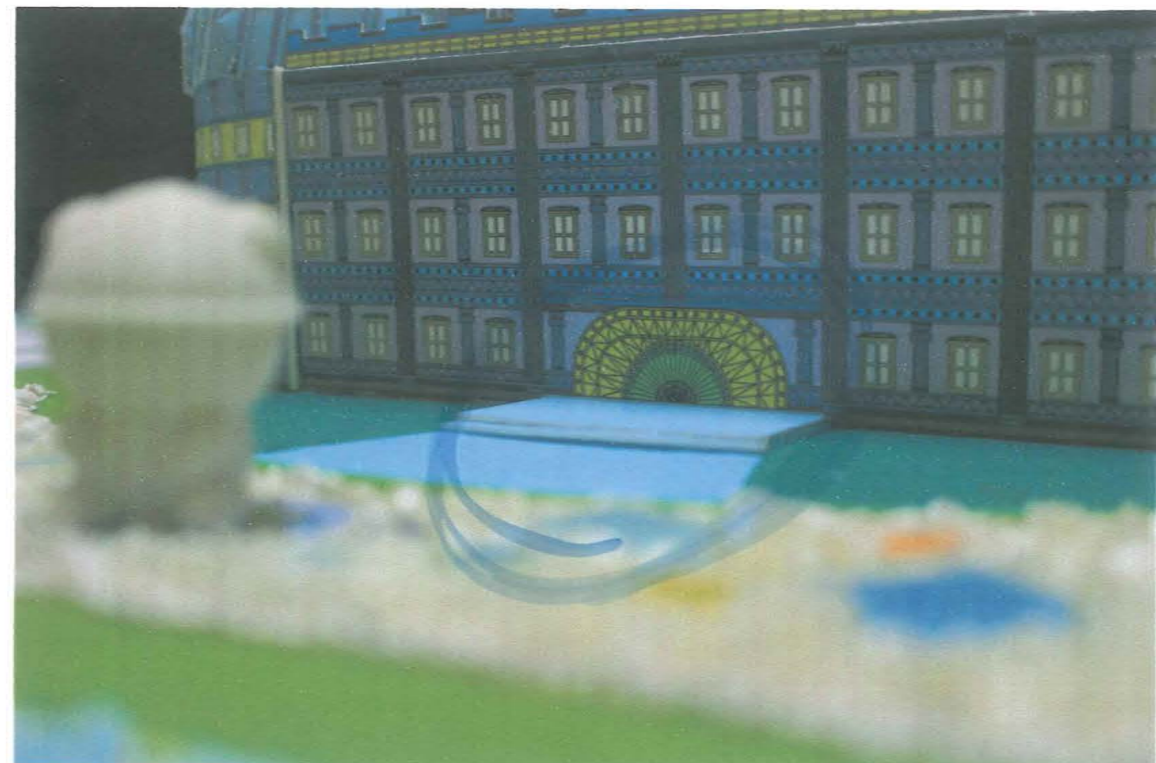
1階平面図 1/400



2階平面図 1/400



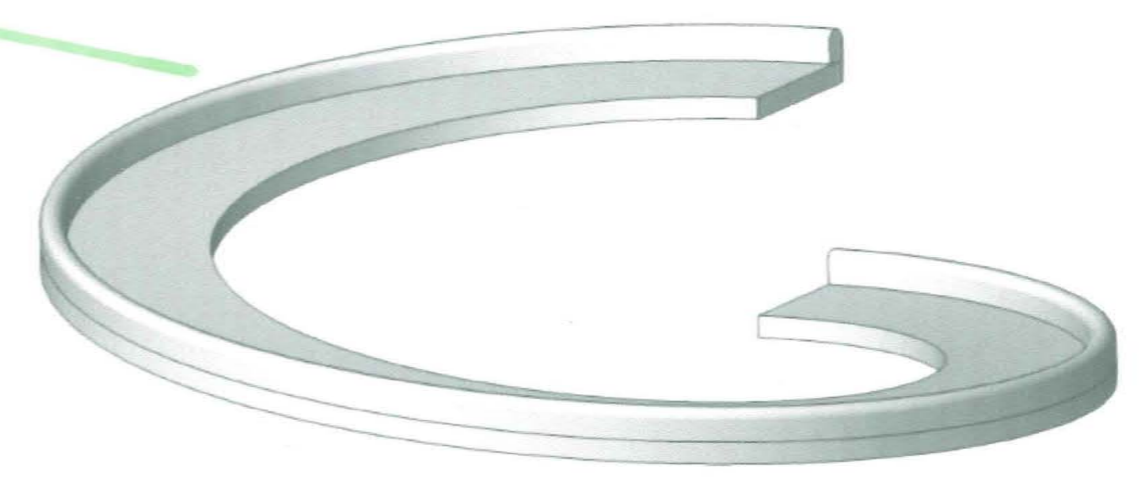
3階平面図 1/400



Point

独創的な大きい扉を表現した。
開館中は開けたままの状態にしている。

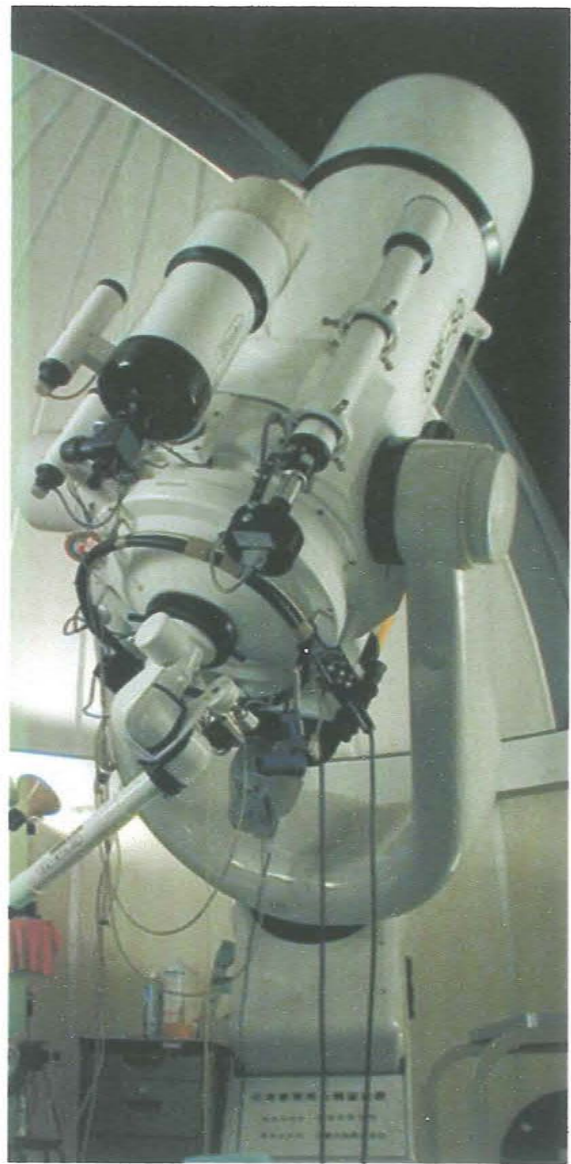
Image



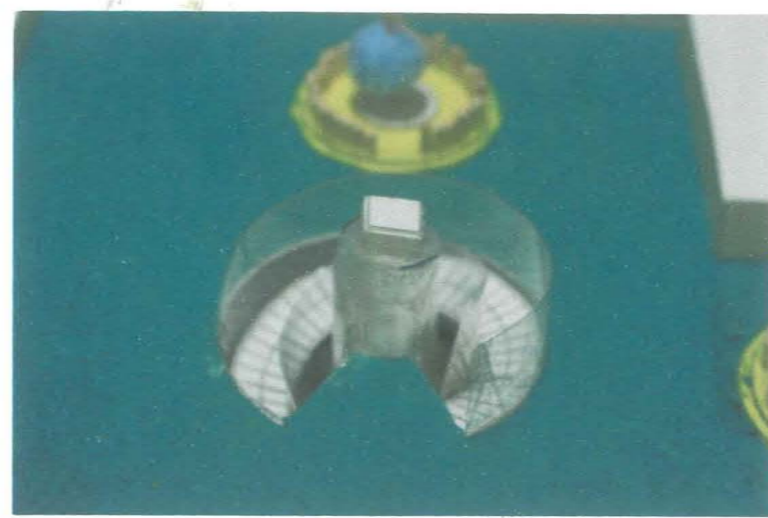
螺旋スロープ



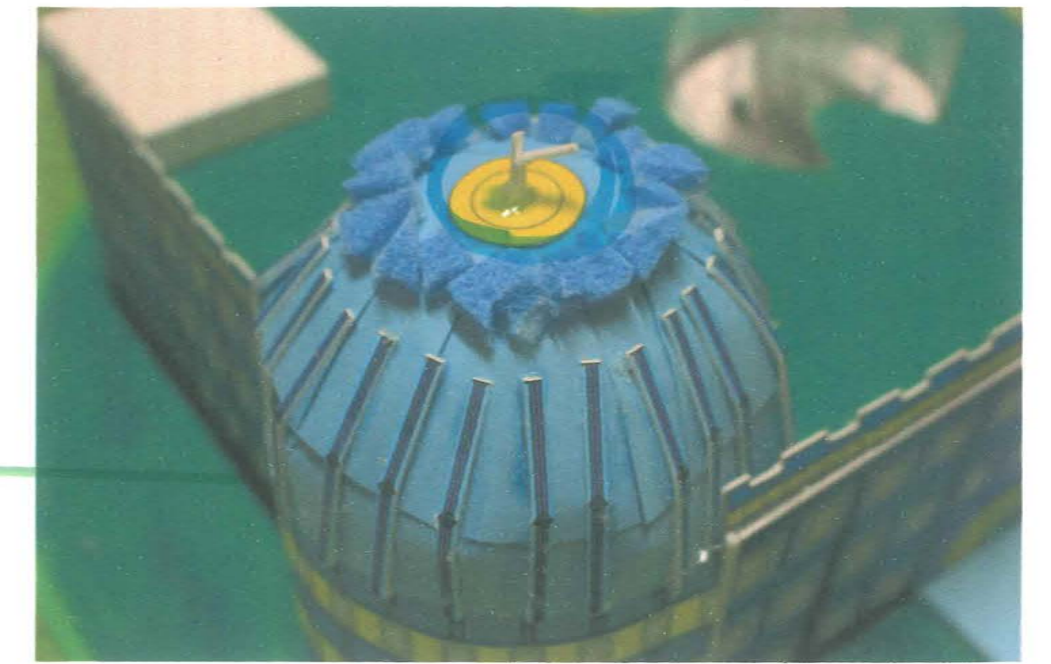
Image



天体望遠鏡



プラネタリウム



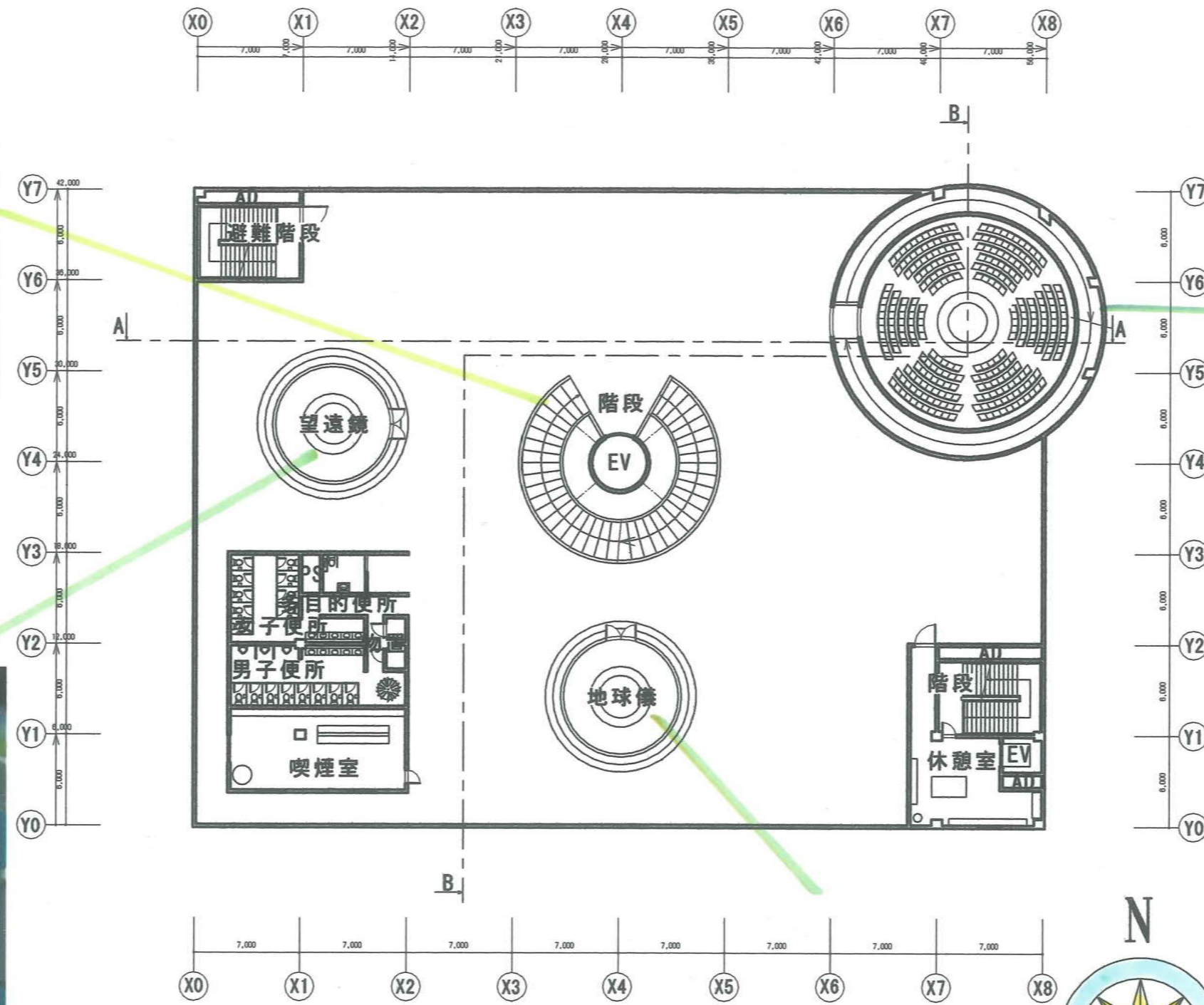
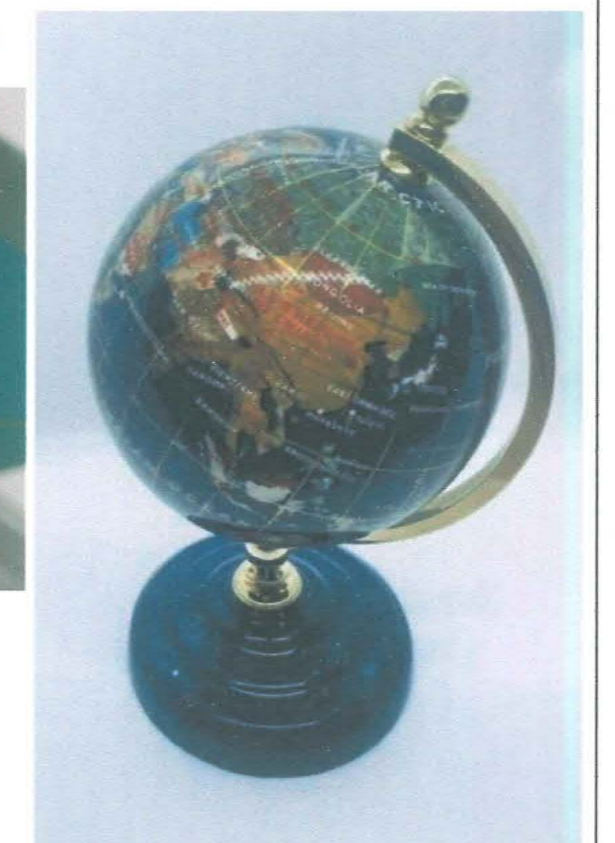
Image



Image



地球儀

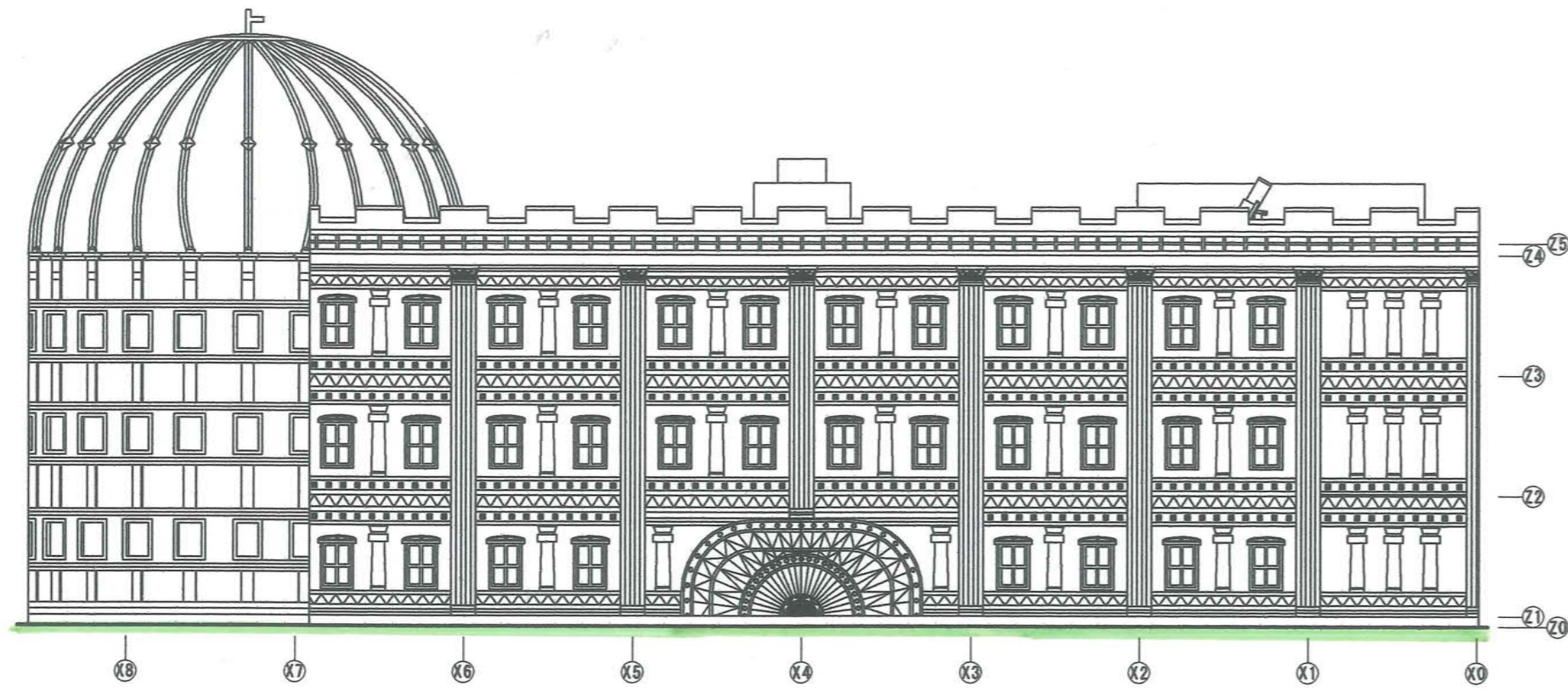


屋上平面図 1/450

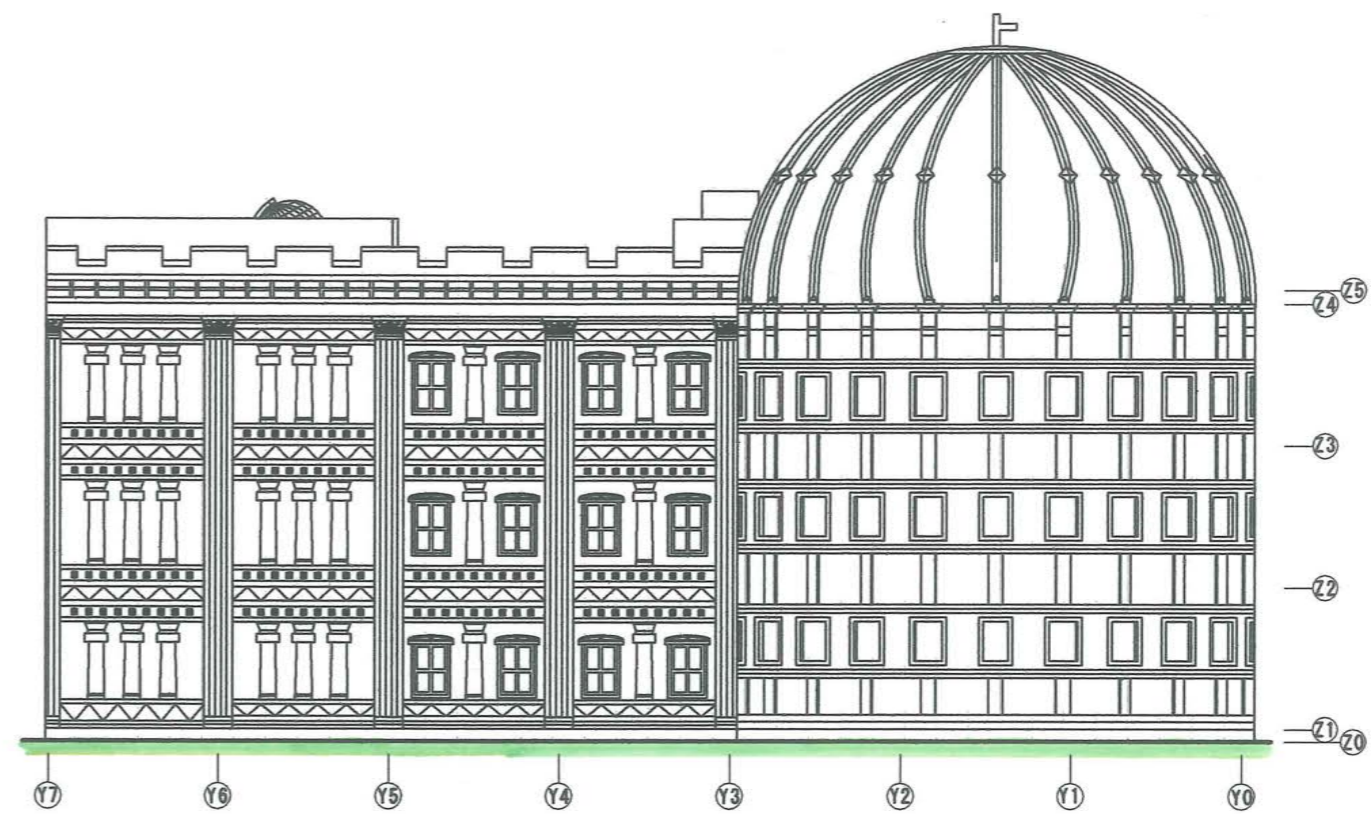
Point

大きい望遠鏡と地球儀を設置し、天体観測をする時に利用できるようにした。
 円柱型の建物はプラネタリウムが博物館に馴染むように設計した。
 頂点にはかわいらしい避雷針を建てた。
 螺旋階段とエレベーターはガラス張りをしっかりと表現した。





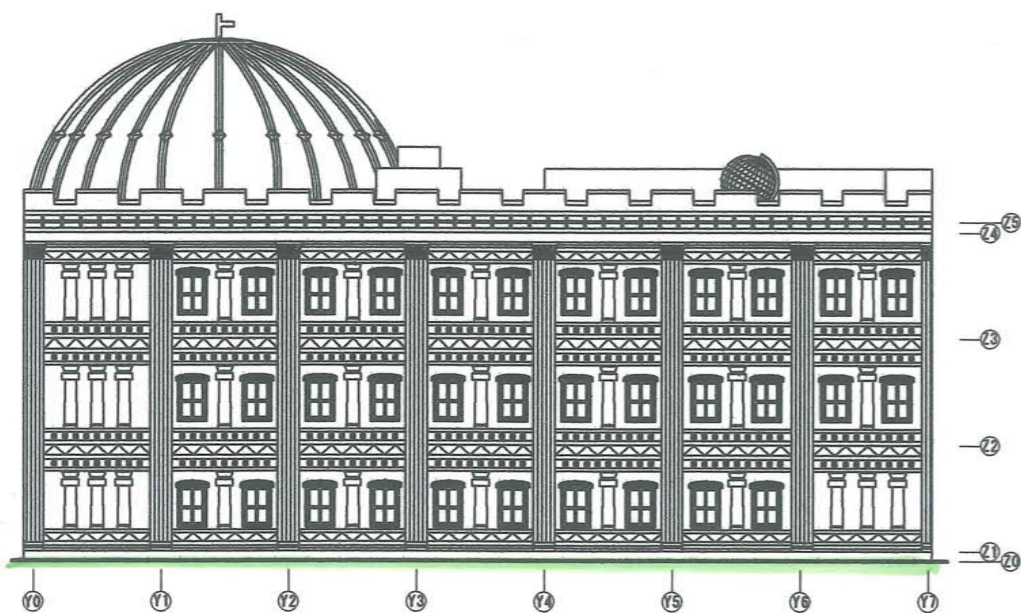
北立面図 1/300



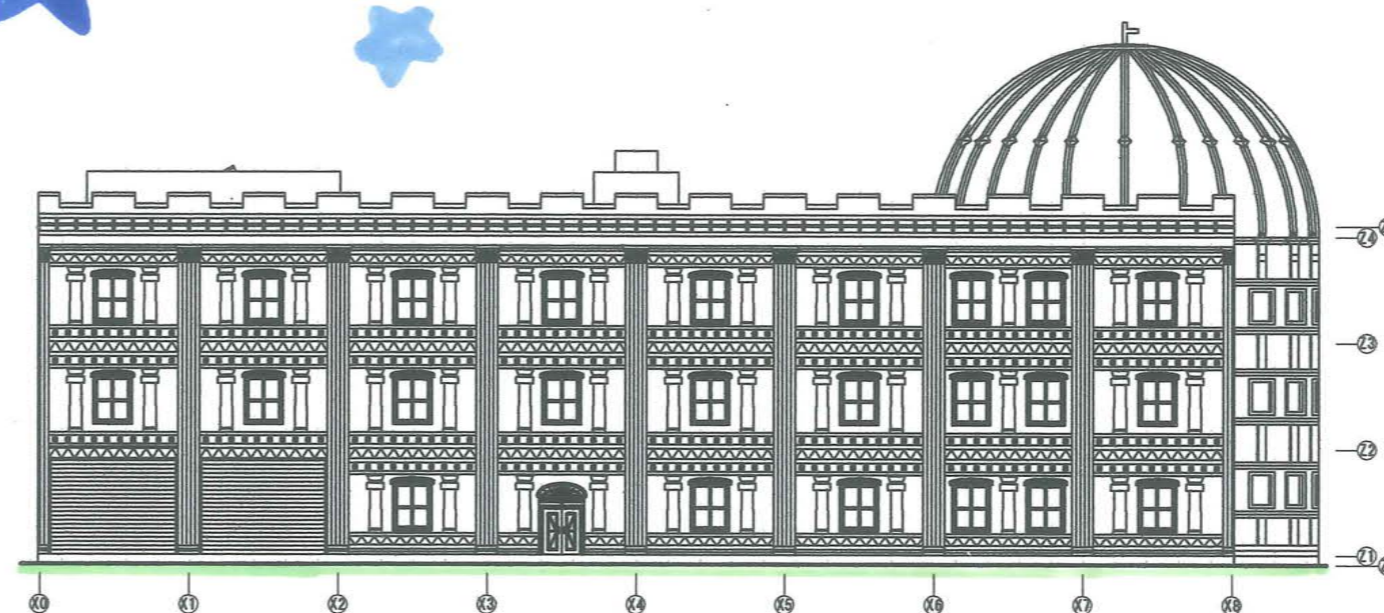
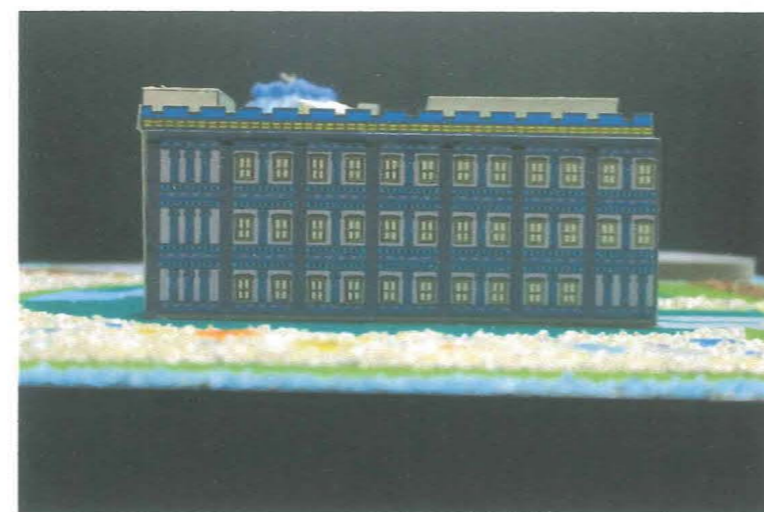
西立面図 1/300

Point

幻想的な雰囲気作りを意識して、
洋画に出てきそうな外見の建物にし、
色は宇宙をイメージし、
濃い色の青にした。
円柱型の建物は、屋上に設置した
プラネタリウムが博物館に馴染むように
設計した。



東立面図 1/450



南立面図 1/450

